TADOKU JUNIOR グリム童話 ★★☆☆☆ みじかい 249語

The Old Man and his Grandson

年とったおじいさんと孫

Brothers Grimm (tr. Edgar Taylor & Marian Edwardes)（1823年の本） 原文そのまま 朗読：Bob Neufeld

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ 年をとって食事をこぼすようになったおじいさんは、テーブルからはなされてしまいます。ところが4さいの孫が木切れで何かを作りはじめて……。



There was once a very old man, whose eyes had become dim, his ears dull of hearing, his knees trembled, and when he sat at table he could hardly hold the spoon, and spilt the broth upon the table-cloth or let it run out of his mouth. His son and his son's wife were disgusted at this, so the old grandfather at last had to sit in the corner behind the stove, and they gave him his food in an earthenware bowl, and not even enough of it. And he used to look towards the table with his eyes full of tears. Once, too, his trembling hands could not hold the bowl, and it fell to the ground and broke. The young wife scolded him, but he said nothing and only sighed. Then they brought him a wooden bowl for a few half-pence, out of which he had to eat.

They were once sitting thus when the little grandson of four years old began to gather together some bits of wood upon the ground. 'What are you doing there?' asked the father. 'I am making a little trough,' answered the child, 'for father and mother to eat out of when I am big.'

The man and his wife looked at each other for a while, and presently began to cry. Then they took the old grandfather to the table, and henceforth always let him eat with them, and likewise said nothing if he did spill a little of anything.

むかし、とても年をとったおじいさんがいました。目はかすみ、耳は遠くなり、ひざはふるえ、食事のときにはスプーンを持つのもやっとで、スープをテーブルクロスにこぼしたり、口からたらしたりしてしまうのでした。息子と息子のおよめさんは、それをいやがりました。それでおじいさんは、とうとうストーブのうしろのすみにすわらされ、食べ物は土の焼き物のおわんで、それも十分ではない量しかもらえなくなりました。おじいさんは、なみだでいっぱいの目で、いつもテーブルのほうをながめていました。あるとき、おじいさんのふるえる手はおわんを持っていられず、おわんはゆかに落ちてわれてしまいました。若いおよめさんはおじいさんをしかりましたが、おじいさんは何も言わず、ただため息をつくだけでした。そこで二人は、わずかなお金で木のおわんを買ってきて、おじいさんはそれで食べなければならなくなりました。

ある日、みんながそうしてすわっていると、4さいになる小さな孫が、ゆかの上で木切れを集めはじめました。「そこで何をしているんだい？」とお父さんがききました。「小さなえさ入れを作っているの。」と子どもは答えました。「ぼくが大きくなったら、お父さんとお母さんがこれで食べるんだよ。」

夫婦はしばらく顔を見合わせていましたが、やがて泣きだしました。それから二人はおじいさんをテーブルにつれてきて、それからはいつもいっしょに食べさせ、おじいさんが少しくらい何かをこぼしても、何も言わないようになりました。

たんご と クイズ 年とったおじいさんと孫

spoon	スプーン	**stove**	ストーブ・かまど	**bowl**	おわん
tears	なみだ	**grandson**	孫（男の子）	**wood**	木・木切れ

Q1 **おじいさんのおわんは、どうして木のおわんになったの？**

① 焼き物のおわんを落としてわったから　② 木のおわんが好きだったから　③ 孫が作ってくれたから

Q2 **孫は木切れで何を作っていたの？**

① おもちゃの家　② お父さんとお母さんのためのえさ入れ　③ おじいさんのいす

こたえ

Q1 ①　ふるえる手でおわんを持っていられず、ゆかに落としてわってしまったので、木のおわんで食べることになりました。

Q2 ②　「ぼくが大きくなったら、お父さんとお母さんがこれで食べるんだよ。」と言って、えさ入れを作っていました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #2591（Brothers Grimm (tr. Edgar Taylor & Marian Edwardes)、1823年）。パブリックドメイン。

挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。

朗読（Web版）：Bob Neufeld（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）

和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。